

令和4年度 事務事業評価シート（1）

[令和3年度事務事業]

一般会計				事務事業分類	A 一般事務事業
事務事業名	ホームページによる広報活動事業			事業番号	001-003
担当部署名	市長公室	局	広報戦略	部	広報課

I. 基本情報

事業の位置付け

1	堺市基本計画 2025	施策との関連	有・無	戦略	4.人や企業を惹きつける都市魅力～Attractive～	施策	(2) 市政への信頼獲得、ブランド力の向上に向けた戦略的広報の展開	
		有	取組の方向性	①堺市ホームページを総合情報プラットフォームにリニューアル				
		寄与するKPI	有・無	指標名	—			
	堺市SDGs 未来都市計画	施策との関連	有・無	ゴール	—	ターゲット	—	
		有	取組	—				
		寄与するKPI	有・無	指標名	—			
2	関連計画	堺市広報戦略						
3	事業開始年度	平成 9 年度	点検年度	令和 7 年度				
4	実施根拠 (根拠法令、条例等)							

事業の概要

5	事業の実施主体 (実施主体となる団体等)	本庁				
6	事業の対象 (対象とする人や物、対象数)	本市が発信する情報を伝えたい方、知りたい方 (本市施策・事業の対象者)	対象数	単位		
			約82万	人		
7	事業の目的 (事業実施によりめざす状態)	<ul style="list-style-type: none"> ・市民生活に関する情報を的確かつタイムリーに伝え、市民サービスの向上、市民の安全・安心に資する。 ・市政に関する情報を的確かつタイムリーに市民に発信することで、市政の見える化を推進するとともに、市民の市政への信頼・関心を高め、市政への参画、更には協働を促進する。 ・市の施策や堺市の魅力を市内外に発信し、都市イメージの向上、堺への愛着の醸成を図り、集客交流の促進、人口誘導に寄与する。 				
8	事業内容 (目的を達成するための手段)	市ホームページにおいて、市政や暮らしに関する情報、災害時の緊急情報、市の魅力・観光情報、イベント情報などを発信するにあたり、即時的にページの作成・更新を行うことができるCMS (コンテンツマネジメントシステム) を年間を通じて安定的に運用する。				
	※スケジュール、実施方法・手段、事業規模・回数など	※国・府の基準より上回って実施した内容を具体的に記載				
9	主な支出先 (委託・補助金・負担金等)	CMS運用保守業務委託契約の受注者				
10	公民連携・協働事業					

II. 事業目的の達成状況

事業の成果や活動実績の測定

成果指標(目的の達成状況を測定)	単位	実績	実績		目標	目標	点検年度
			令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和7年度	
11 市ホームページが「利用しやすい」と答えた人の割合	%	目標値	80	80	80	80	
		実績値	60	69			
		達成率	75%	86%			
		当該指標を選定した理由	実際にホームページを利用した方の満足度を把握できる指標であるため				
目標値の設定根拠・算出方法	市政モニターアンケートで堺市ホームページが「利用しやすい」「どちらかといえば利用しやすい」と答えた人の割合 (利用していない人を除く。)						
12 市ホームページ全体のアクセス件数	件	実績	実績		目標		
		令和2年度	令和3年度	令和4年度			
		目標値	45,000,000	45,000,000	77,000,000		
		実績値	65,255,434	76,814,230			
達成率	145%	171%					
当該指標を選定した理由	ホームページの利用状況が客観的に把握できる指標であるため						
目標値の設定根拠・算出方法	アクセス解析ツールにより算出						

令和4年度 事務事業評価シート（2）

事務事業名	ホームページによる広報活動事業	事業番号	001-003
-------	-----------------	------	---------

Ⅲ. 投入量

事業コスト

※当初予算には、前年度からの繰越分を含む。 (単位：千円)

項目	令和元年度	令和2年度	令和3年度		令和4年度
	決算	決算	当初予算	決算	当初予算
事業費 (a)	14,666	13,347	31,386	29,411	29,632
13 財源内訳					
国支出金	19	21		20	
府支出金					
市債					
その他 (関西国際空港支出金)	120	120		120	
受益者負担金(使用料、手数料等)					
一般財源	14,527	13,206	31,386	29,271	29,632
14 人件費 (b)	7,830	15,770	15,270	19,050	23,540
15 年間経費(c)=(a)+(b)	22,496	29,117	46,656	48,461	53,172

事業費の内訳

(単位：千円)

項目	年度	事業費	うち 一般財源	項目	年度	事業費	うち 一般財源			
								R3	決算	R3
16 事業費内訳	CMS運用保守委託料	R3	決算	12,665	12,525	その他使用料及び賃借料	R3	決算	220	220
		R4	予算	12,131	12,131		R4	予算	540	540
	CMSバックアップデータ遠隔地保管業務委託料	R3	決算	279	279	普通旅費	R3	決算	0	0
		R4	予算	300	300		R4	予算	39	39
	ホームページリニューアル業務委託料	R3	決算	15,169	15,169	消耗品費	R3	決算	0	0
		R4	予算	0	0		R4	予算	13	13
	CMSサーバ設定変更業務	R3	決算	990	990	研修会等参加負担金	R3	決算	0	0
		R4	予算	0	0		R4	予算	80	80
	ホームページシステムサーバプレイス関係費用	R3	決算	0	0	その他役務費	R3	決算	88	88
		R4	予算	16,529	16,529		R4	予算	0	0

Ⅳ. 事業の効率性

単位当たり経費

区分	単位	令和2年度	令和3年度
① 市ホームページが「利用しやすい」と答えた人	人	492,000	565,800
② 上記①にかかる年間経費	千円	29,117	33,292
③ 単位当たり経費 (②÷①×1,000円)	円/単位	59	59
備考 (算出についての説明等)	市ホームページが「利用しやすい」と答えた人の割合 (令和2年度60%、3年度69%) ×堺市人口 (82万人)		

Ⅴ. 評価

費用対効果に係る所見

18 市ホームページのアクセス数が前年度に比べ約18%増加しており、ホームページによる情報発信のニーズが高まっていることが分かる。しかし、市ホームページが「利用しやすい」と答えた人の割合は60%から69%に増加しているものの、目標値には達していない。利用しやすいホームページへのさらなる改善を行い、費用対効果をさらに高めていく必要がある。
なお、「Ⅳ. 事業の効率性」における単位当たりの経費は経常経費のみで算出しており、令和3年度に実施したホームページリニューアルの費用(15,169千円)は含んでいない。

KPI等への寄与 (基本計画等のKPI・取組の方向性や事業の目的の達成にどのように寄与したか)

19 令和3年度は、ホームページから新型コロナウイルス感染症の情報をタイムリーに発信するとともに、各部局の情報を横断的にまとめたポータルサイトを開設するなど、分かりやすい発信に努め、市民の利便性向上や市政への信頼獲得に寄与した。
こうした改善の取組みにより、市ホームページが「利用しやすい」と答えた人の割合は増加しているものの目標値に達していないことから、利用しやすいホームページへのさらなる改善が必要である。そのため、令和3年度末に全ての方が見やすく使いやすいホームページになるよう、ホームページの全面リニューアルを実施した。今後は広報誌やSNSとの連携を強化し、市の施策や市政に関わる情報をタイムリーにわかりやすく発信していく。